

SSW-303CS

1.8 保守点検

各部の点検を下表のように実施します。

区 分	点 検 箇 所
毎回点検	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン、クランク室内の油量 ・各部の注油 ・各部の油漏れ、ボルトのゆるみ、配管系統のゆるみ、ホースの亀裂 ・レバー、コック等の作動状況
20時間毎点検	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンオイルの点検（以後50時間毎） GM291LE（走行・噴霧ポンプ用）：1.2L GM181LE（送風機用）：0.7L
30時間毎点検	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料ストレーナの清掃
50時間毎点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムクローラの伸び（以後100時間毎） ・トラックローラ・アイドルローラへの注油 ・各種ワイヤ、Vベルトの伸び ・ミッションケースのオイル点検、交換…2.0L（以後1000時間毎） ・噴霧用ポンプクランクケースオイル点検交換…0.6L（以後100時間毎）

1.9 点検要領

注意

●走行クラッチ、旋回レバー、駐車ブレーキ、駆動用クローラは運転上重要な部品です。点検のみにとどめ、異常を感じたときは自分で調整せず、販売店のサービス担当者に依頼してください。

■噴霧用ポンプ

- クランクケース内にオイルが適量入っているかオイルゲージで確かめ、不足している場合は補充します。
- クランクケースのシリンダ取付部にある3個の注油口に油差しでモービル油を3～5滴注油します。（2～3時間毎）
- 調圧弁カム部分、その他摺動部にも注油します。

注油口



使用時間	モービル油の種類	交換時間	容量
春～夏	SAE#40	初回50時間	0.6L
秋～冬	SAE#30	以後100時間毎	

■エンジン

エンジンについてはエンジンの取扱説明書を参照し、特に下記事項に注意します。

●潤滑油

使用前には必ずクランクケース内にオイルが定量入っているかオイルゲージで確かめ、不足している場合は補充します。

使用オイルはモービル油を下表に従って使用します。

オイル交換は、初回20時間、2回目以後は50時間使用毎に交換します。

交換のときは、エンジンが暖まっている間に行います。

使用時間	モービル油の種類	交換時間	容量
春～夏	SAE#40	初回20時間 以後50時間毎	GM291LE (走行・噴霧ポンプ用) 1.2L
秋～冬	SAE#30		GM181LE (送風機用) 0.7L
四季を通じて	SAE#10W-30		

●燃料

注意

●タンクのガソリン給油口には、燃料コシ網が装着してありますから、燃料給油時には必ず使用します。
燃料コシ網は汚れやすいので、ときどきぬるま湯の中で、ブラシに石鹸を付け、内外をよく洗い乾燥させてから再び使用します。

●トランスミッションオイル

オイル漏れ等がないか始業時必ず点検します。オイル交換は、注油口およびドレンプラグを外し、オイルを抜きます。注油口より、ギヤオイルSAE#90を2.0L入れます。

(初回100時間、以後1000時間毎に交換します。)

■摺動部

●エンジンオイルを使用し、テンション軸受部、ワイヤ部、レバー軸受部等に注油します。注油は20時間毎に行います。

■走行用Vベルト

●走行用Vベルトの張りは、走行クラッチが「入」の位置にあるとき、Vベルト張り側(下側)の中間を100N(10kgf)の力で押してたわみが15～20mmが適正值です。

